

金曜日の会報告

- 1 期日 9月13日
- 2 場所 倉敷労働会館
- 3 参加者 O,TA,YO,AR,AK
- 4 内容

・映像「おさるがふねをかきました」(AR)

子どもは教材の中心へ向かうものだなと思いました。それは、文章の構造に沿っており、なによりも子どもが考えたいことに沿っています。その教材の中心に向かおうとする子どもの発言に沿わず、教師が余計な考えを持ち込むことで、子どもの意欲を削ぎ教師が本当につかませたかったことにも気づかせることができなくなります。それが、如実に表れていました。文責 AR

・『ぼくは川』授業映像(AK)

授業者が『ことば』や『ことばとことばの関係』について解釈をもち、懸命に授業に向かおうとするアグレッシブな姿が、映像を通して見られました。説得的な部分はありませんでしたが、身を乗り出して子どもと向き合う安倉先生の姿勢と迷いのない話し口調が、すごいと思いました。何よりも、授業者が『やりたい』『子どもに聞いてみたい』という意気込みがいいです。授業を受けている子どもたちも、しっかり聴こうとしていました。

2学期が始まって2週間で何をしましたか？私は、運動会練習に明け暮れて、大切なことを見落としていたように思いました。運動会練習も佳境に入りますが、一つでも積み始めたいと思います。後れ馳せながら、3週目からではあります。

やはり、言葉と言葉の関係、問題と問題の関係、対立といったことへの意識が重要です。ありがとうございました。

TA先生の発言にも刺激を受けます。言葉に対して、いろいろな方向からアプローチしてみようとする感覚がいいなあと思いました。文責 YO